

浮羽支部を結成する。

6、大會各種委員任命（議長一任）

- 會場整理委員 太田 選平（長） 外二名
- 資格審査委員 藤崎 常吉（長） 外六名
- 宣言起草委員 西川 甚太郎（長） 外六名
- 議案審査委員 副田 勝水（長） 外七名
- 規約審査委員 城戸 龜雄（長） 外七名
- 役員銓衡委員 結城 巖郎（長） 外五名

7、祝詞祝電披露

○祝詞 皇道會副總裁海軍中將山下 龜八郎

今日は軍大時と言はれて、内政、財政、教育の凡ゆる方面に於て事情は切迫し、世相は朗らかでない。思想に於て少数主義が國家を破壊せんとしてゐる。社會が

不健全であれば悪思想が生れる。その不健全は何處にあるか、明治維新以來の教育が悪かつた、歐洲の物質文明に接し其の儲取入れた結果日本の自主的精神を忘れた處の教育になつて、仕舞つた、それと共に維新に於ける政治が一部を以て多數を犠牲にする政治であつたか、其の排政を改めんとして自由黨、改進黨が現れた。然し之等も亦同じく痛した政黨となり、大多數が政權を得ると言ふ考へから議員を買収し、財閥より費用を買ふ等遂に墮落の極に達した。之等が即ち一般國民に悪い感情を興へたのだ、本年の大旱魃に際しても何等の實行も出来な

い有様である。三千萬農民の購買力減きが爲都會の中小工業を困難ならしめた。自由主義も尊重はするが、高度なる金融資本には幾分の制限を加へて國民の富の均衡を